

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 産業振興課		内線等	1241
事務事業名	農業振興事業			事業コード	1. 一般事務事業(ソト事業)	
根拠法令等	農林水産振興対策事業補助金交付要綱			Dその他		

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	農林業
------	---------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	農業者の組織する団体に
手段	事業の実施に要する経費に対して補助金を交付することによって
想定する成果	農業の振興を図る

事業の概要

項目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
事業費	102,777,000円	387,751,000円	369,500,000円
補助金額	13,098,000円	9,989,000円	4,187,000円
繰越金額	816,000円	157,000円	0円
対象団体数(件数)	7団体	5団体	5団体

成果指標

成果指標名	補助率	事業費に対する繰越金額の割合
成果指標の説明	補助金額 / 事業費 × 100	繰越金額 / 事業費 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		12.74%				2.58%				1.13%			
成果指標		0.79%				0.04%				0.00%			
事業費	事業費	102,777				387,751				369,500			
	人件費	9,643				9,653				9,547			
	(人数)	正規	1.2	非常勤		正規	1.2	非常勤		正規	1.2	非常勤	
	合計	112,420				397,404				379,047			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	112,420				397,404				379,047			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	補助対象団体の運営費の一部としては有効に使っている。
経済効率性	2	1	2	1	補助対象団体によっては、総事業費に比べて金額も少ないため、事業の振興への貢献度はあまり期待できない。
事務効率性	2	2	2	2	各担当者が手分けして効率よく事務を執行している。
必要性	2	1	2	1	
小計	8	6	8	6	
施策への貢献度	2	-	3	-	
合計	10	6	11	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	B	C	各団体の運営事業費の一部としての補助金の性格だが、特にどの事業に使ったというものがなく、又、繰越金の増えている団体もあるため、見直しが必要。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
各団体の運営事業費の一部としての補助金の性格だが、特にどの事業に使ったというものがなく、又、繰越金の増えている団体もあるため、一律の団体補助をやめ、事業ごとに検討して補助金を出すという方式に見直しが必要。
上記改善点の実施状況
事業ごとの内容を十分精査し、農業振興に特に必要とするものに限り補助をしている。

今後さらに改善すべき点

時局に適合し、農業振興に必要な事業に限り補助する。

平成21年度予算に反映する項目

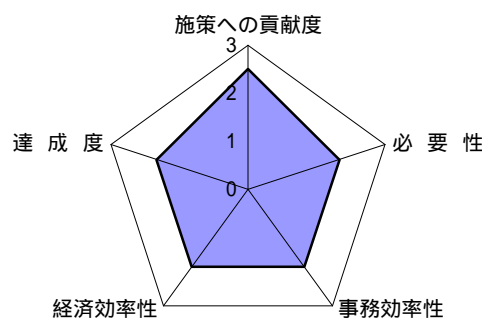
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点